

(様式：出-2)



平成 30 年 7 月 18 日

泉佐野市議会議長 様

(会派名) チーム泉佐野創生

(代表者名) 向江 英雄



出張調査（視察、研究・研修会参加）報告書

下記のとおり出張調査（視察、研究・研修会参加）の結果について、別紙報告書を添付し報告いたします。

記

目的 (内容)	民間主導の生涯活躍のまち（日本版 CCRC）構想の実践モデルによる地域活性化事例を調査・研究するための視察
議員名	向江英雄・野口新一・大和屋貴彦
日程	平成 30 年 7 月 11 日（水）8：30 ～7 月 12 日（木）18：00
場所	住所 石川県白山市北安田町 548 番地 2 場所 社会福祉法人佛子園 運営各所（Sare 金沢・B's 行善寺・美川 37Work・三草二木 西園寺）
経費	別添旅費計算書のとおり
その他	



調査行程・旅費計算書

(平成 30 年 7 月 11 日 ～ 7 月 12 日分)

○行程表

月	日	時間	スケジュール	交通手段等
7	11	8:30	泉佐野市役所 出発	レンタカー
		12:30	社会福祉法人佛子園 Sare金沢 視察	
		16:00	社会福祉法人佛子園 B's行善寺 視察・意見交換会	
		19:30	宿泊施設到着	
7	12	11:00	社会福祉法人佛子園 三草二木 西園寺 視察	
		12:30	JR美川駅 美川37Work 視察	
		13:30	出発	
		18:00	泉佐野市役所 到着	

○旅費等計算表

内 訳	計 算 根 拠	金 額		
		単 価	数	計 (円)
レンタカー代		25,920	× 1	= 25,920
宿泊代		6,600	× 3	= 19,800
		×	=	
		×	=	
		×	=	
		×	=	
		×	=	
		×	=	
		×	=	
		×	=	
合 計				¥45,720 /



領収書

子-ム泉佐野創生様

領収金額 ¥6,600

(内消費税等)
現金にて領収いたしました。

アパホテル<金沢中央>
TEL 076-235-2111

印紙税申告納
付につき麻布
税務署承認済

アパホテル株式会社
作成地
東京都港区赤坂3丁目2-3

取引番号:035003P07117079 2018/07/11 22:19

お部屋番号: 938

お名前 : ムカエヒデオ様
お人数 : 1
宿泊期間 : 2018/07/11 - 2018/07/12



領収書

子-ム泉佐野創生様

領収金額 ¥6,600

(内消費税等)
現金にて領収いたしました。

アパホテル<金沢中央>
TEL 076-235-2111

印紙税申告納
付につき麻布
税務署承認済

アパホテル株式会社
作成地
東京都港区赤坂3丁目2-3

取引番号:035001P071126623 2018/07/11 22:17

お部屋番号: 939

お名前 : ノグチシンイチ様
お人数 : 1
宿泊期間 : 2018/07/11 - 2018/07/12



領収書

子-ム泉佐野創生様

領収金額 ¥6,600

(内消費税等)
現金にて領収いたしました。

アパホテル<金沢中央>
TEL 076-235-2111

印紙税申告納
付につき麻布
税務署承認済

アパホテル株式会社
作成地
東京都港区赤坂3丁目2-3

取引番号:035002P07110529 2018/07/11 22:20

お部屋番号: 936

お名前 : ヤマトヤタカヒロ様
お人数 : 1
宿泊期間 : 2018/07/11 - 2018/07/12

NIPPON RENT-A-CAR KANSAI INC.
64 Muromati, Higashikujo, Minami-ku, Kyoto 601-8001. Tel:075(681)0315

№ 047589

30年7月12日 領収証



ニッポンレンタカー関西株式会社
〒601-8001 京都府京都市南区東山町64番地
TEL 075-681-0315
京都予約センター 0120-16-0919

ホーム泉佐野創生様

領収額	〒	円	入金区分
¥ 25,920			① 2 3 4 5
			現金 小切手 手形 振込 クレジット

上記の金額正に領収致しました。

使用区分 但し 消費税 7,920 円含む

① 2 3 4
レンタル料 リース料 事故金 その他

(本領収証に社印・係印のないもの及び金額を訂正したものは無効です。)

印紙



(お客様控)

出張調査報告書(別紙)

日 時	平成30年7月11日(水)8時30分 ~平成30年7月12日(木)18時00分
行 先 等	社会福祉法人佛子園(ぶっしえん) Sare金沢・B's行善寺・美川37Work・三草二木西園寺
目 的	民間主導の生涯活躍のまち(日本版CCRC)構想の実践モデルによる地域活性化事例を調査・研究するため
内 容	別紙参照
総 括	別紙参照

* 枠等が不足する場合は適宜拡大してください。また内容が同様であればこの様式以外の使用も可とする。

社会福祉法人佛子園視察報告書

(1)日付 : 7月 11日 (水) ・ 12日 (木)

(2)行先: 社会福祉法人佛子園(ぶっしえん) Sare 金沢・B's 行善寺・美川 37Work・
三草二木 西園寺

(3)目的

民間主導の生涯活躍のまち(日本版 CCRC)構想の実践モデルによる地域活性化事例を調査・研究するため

※ CCRC : Continuing Care Retirement Community の略で、東京圏をはじめとする高齢者が、自らの希望に応じて地方に移り住み、地域社会において健康でアクティブな生活を送るとともに、医療介護が必要なときには継続的なケアを受けることができるような地域づくりをめざす構想

(4)概要

社会福祉法人佛子園は、石川県白山市にある行善寺というお寺に戦災孤児たちを預かることから始まり、1960年3月に開設され、50年以上にわたり、常に福祉のパイオニアとして既成の枠を超えた独自の福祉サービスを創造し、提供しておられます。

特に、それぞれの地域の実情に応じて展開しているコミュニティ支援事業が注目されており、先進事例として安倍晋三内閣総理大臣をはじめ各界代表者や自治体、団体からの視察依頼が後を絶たないそうです。

今回の視察にあたり、お忙しい中、三草二木 行善寺 代表の速水健二氏が佛子園の歴史、事業、今までの日本の制度とこれからの日本についてご講演くださいました。国が定めた法律の趣旨が都道府県から自治体に下されてくると、その趣旨自体が変わってしまい、現場レベルで機能しない状況にあるので、自治体のや

る気が最も大切であること、これからの人生 100 歳時代においては高齢者という概念がなくなり、新たな人生設計モデルのあり方が求められること、あらゆる課題解決の鍵は多世代が関わることができる地域づくりにあること等、とても貴重なお話を拝聴させていただきました。

佛子園さんでは、多世代の方々が、「ごちゃまぜ」になって関わる絶妙な仕組みづくりを展開されておられ、それらの事業の運営に障害をお持ちの方や精神疾患を抱えられる方々が関られ、様々な制度の縦割り構造によって分断されてしまった人と人の関わりが再構築され、障害や疾患を乗り越える様々な効果を生み出しているとのことでした。

以下、今回視察させていただいた各事業、各施設について簡単に説明させていただきます。

①Sare 金沢

2014 年にスタートした多世代ごちゃまぜの新しいまちづくり事業です。総面積約 11,000 坪の敷地に、天然温泉・居酒屋・カフェのある高齢者デイサービス・生活介護・訪問介護を行う施設を拠点に、サービス付き高齢者向け住宅 (32 戸) やアトリエ付き学生向け住宅、児童入所施設、児童発達支援センター、産前産後ケア施設、自然学校、スポーツクラブ、全天候型グラウンド、クリーニング店、日用品・生活雑貨店、料理教室、エステ、バー、デザイン事務所等で構成された一つのまちが形成されていました。

住まいとまちづくりの特徴としては、多世代 (高齢者・障害児・学生) の住居をバラバラに配置し、それぞれの住居の間に通り道を作ったり、縁側を配置するなどして、交流推進が図られています。共同売店での就労ボランティアや家庭菜園・農園での農作業、居住者による住民組織の運営、周辺地域から各店舗を訪れる地域住民との交流などの活動が行われています。まさに人が直につながり、支え合い、共に暮らす街、つまりは新たな住民自治の形が実現されていました。

②B's 行善寺

佛子園発祥の地、行善寺の周辺に、地域住民を巻き込んだ多世代交流を創出するための仕掛け作りが施されていました。それは、地域住民が無料で利用できる温泉・足湯温泉や地域コミュニティの拠点としての会議室、大学生や地域住民が地域の課題解決について話し合う住民自治です。さらに、居酒屋やハンバーガー

ショップ、保育園、児童発達支援センター、フィットネスクラブ、プール、料理教室、フラワーショップもあり、その中心に子どもたちが遊べる公園があります。

公園で遊ぶ子どもたちを見守りながら若い世代の方々がカフェでお茶をしながら交流し、そこにこれまで地域を支えてきた地域住民の方々や両者の中間に位置する学生たちが訪れる、まさに多世代が交わる工夫が凝らされています。また、診療所がフィットネスクラブと連携し、地域住民の健康を守り、保育・スポーツ・医療・料理などのあらゆるスペシャリストがオーダーメイドの保育を実現するなど、あらゆるサービスの複合化による新たな価値の創造が人を惹きつける魅力を兼ね揃えています。人が集う工夫と人が交わるサービスの工夫とデザイン的な工夫が施設の細部にまで凝らされているのを実感しました。

③美川 37 (みかわみんな) Work

JR美川駅は以前は白山市が運営する住民が交流できるホールと融合された駅ですが、2012年から佛子園が指定管理として、ホール・カフェの運営、設備点検、夜間警備、清掃等も含めた保守管理業務をおこなっています。社会福祉法人や就労支援A型事業では日本初となる駅舎指定管理だそうです。

駅の改札口付近にあった広い売店スペースは、美川 37cafeとして美しいデザイン性のあるカフェに生まれ変わり、カフェ目当ての利用者が著しく増加し、駅の1日利用者数が1.5倍増しになったそうです。地元の特産品の活用や販売、こだわりのコーヒーの販売等を手掛けています。電車の待合としても利用できるのも、食事やお茶をしなくても利用できるのが魅力です。カフェの奥に広大なスペースがあり、現在は地域の方々の写真展が行われていますが、時折音楽イベントを開催しているようで、みんなが集う駅へと変貌したそうです。

④三草二木 西園寺

こちらは廃寺の活用を地域住民から依頼され、2008年に温泉と居酒屋を中心にリノベーションした地域コミュニティセンターとして復興したそうです。温泉は地域の方々と話し合った範囲のエリアの方々が無料で利用できるのも、そのエリア内への移住者が増え、6年間で13世帯増加したそうです。お寺を活用しているので、独特の雰囲気の中、温かい光と音楽、あらゆる方々の話し声と笑い声が絶えない施設でした。

(5)総括

今回の視察テーマは、2016年10月27日に会派で視察させていただいた有限会社アシストさんが運営される木造多世代交流コミュニティ「あしすと村」の取組からつながるテーマでした。

あらゆる技術とサービスの進歩による価値観の多様化・変化が影響して弱体化した地域コミュニティの再生は、今までのやり方では不可能であると考えています。時代に即した新たな価値観による新たなサービスと新たな手法によって再生する必要があると確信しています。

今回視察させていただいた各施設・各事業には、あらゆる方々が関わる仕組みが施された拠点としての機能があり、そこで生み出される交流が様々な境遇にある人々の課題の解決や、さらには地域コミュニティの再生を促す重要な効果があると考えられます。





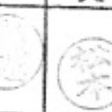


今まで培われてきた伝統文化と価値観に、人を惹きつけ、繋ぎ合わせる新たな価値観を融合させることで人のつながり、地域のつながりが再構築される可能性があることを実践事例から学ばせていただいたことで、希望と勇気をいただくことができました。

民間の価値観を受容し、協働できる自治体のあり方、どこでも組める自治体をめざすことが先決で、そのような事業を展開できる事業者または地域の発掘に努める必要があります。

以前から議会で提案させていただいている地域への権限の移譲、つまり地域内分権の取組とこの多世代交流型のCCRC構想を融合し、泉佐野市内5中学校区で地域または事業者が地域コミュニティの核となる拠点の形成に努めるべきではないかと考えます。

地域の再生、住民自治の復活こそがまちの根幹を作り上げる最も大切な取組であると確信しておりますので、いち早くこのようなモデルが作り上げられるようしっかりと取り組んでまいります。

(様式：出-2)

供 費	議 長	副 議 長	局 長	次 長	幹 事	主 幹	係 長	係 員
								



平成 31 年 2 月 1 日

泉佐野市議会議長 様

(会 派 名) チーム泉佐野創生

(代表者名) 向江 英雄



出張調査（視察、研究・研修会参加）報告書

下記のとおり出張調査（視察、研究・研修会参加）の結果について、別紙報告書を添付し報告いたします。

記

目 的 (内容)	国際教育に特化した学校教育のあり方、ダイヤモンド型公共交通のあり方、泉佐野市東京事務所の業務を視察すること
議員名	向江英雄・野口新一・大和屋貴彦
日 程	平成 31 年 1 月 17 日 (木) ～1 月 18 日 (金)
場 所	(1) 住 所 群馬県太田市西本町 69-1 場 所 学校法人太田国際学園ぐんま国際アカデミー初等部 (2) 住 所 群馬県太田市浜町 2-3 5 場 所 太田市役所 (3) 住 所 東京都千代田区大手町 2-6-2 日本ビル 3 階地方創生ラウンジ内 場 所 泉佐野市東京事務所
経 費	別添旅費計算書のとおり
そ の 他	



調査行程・旅費計算書

(平成 31 年 1 月 17 日 ～ 1 月 18 日分)

○行程表

月	日	時間	スケジュール	交通手段等
1	17	5:30	関西国際空港 集合	車
		6:30	関西国際空港 出発(羽田空港まで)	飛行機
		8:20	羽田空港国内線ターミナル駅出発(浅草駅まで)	電車
		9:40	浅草駅 出発(太田駅まで)	電車(特急)
		13:30	視察・研修(ぐんま国際アカデミー)	
1	18	9:00	視察・研修(太田市役所)	
		11:32	太田駅 出発(浜松町駅まで)	電車(特急)
			浜松町駅 出発(三越前駅まで)	電車
		13:30	泉佐野市東京事務所 視察	
		15:00	東京駅 出発(浜松町駅まで)	電車
			浜松町駅 乗換(羽田空港国内線ターミナル駅まで)	電車
		16:45	羽田空港 出発(関西国際空港まで)	飛行機
		18:45	関西国際空港 出発(泉佐野駅まで)	電車

○旅費等計算表

内 訳	計 算 根 拠	金 額		
		単価	数	計 (円)
通行料金		720	× 1	= 720
電車料金	羽田空港国内線ターミナル駅～浅草駅(660円)	660	× 3	= 1,980
電車料金	浅草駅～太田駅(普通券1060円・特急券1030円)	2,090	× 3	= 6,270
電車料金	太田駅～浜松町駅(普通券1060円・特急券1030円)	2,090	× 3	= 6,270
電車料金	東京駅～浜松町駅(160円)	160	× 3	= 480
電車料金	浜松町駅～羽田空港国際線ターミナル駅(490円)	490	× 3	= 1,470
電車料金	関西空港駅～泉佐野駅(490円)	490	× 2	= 980
飛行機料金	関西国際空港～羽田空港(23440円)	23,440	× 3	= 70,320
宿泊料金	ホテルルートイン太田(7,050円)	7,050	× 3	= 21,150
		×	=	
合 計		¥109,640		

整理
番号

貼付欄 (一部充当・按分の場合は、余白に按分率、政務活動費支出額等を記載)

セブン-イレブン

熊取大久保店
大阪府泉南郡熊取町大久保中4-7-4

電話：072-453-0077 ｼﾞﾌﾞ#2

2018年12月03日(月) 11:54 責181

インターネットショッピング払込領収書

お客様控

ヤマトヤタカヒコ 様

¥70,320-

払込先名 skyticket (収納代行イーコン)
お客様用連絡先
03-6450-2512

払込票番号
7194-94351-1112

2018年12月03日



- 商品・サービス等の提供方法は払込先より案内されております。(この領収書が必要になる場合もあります。)
- 注文内容についてのお問合せや変更・取消・返品・返金等は、上記、お客様用連絡先にお問合せ下さい。
- 本票を保管頂く場合は、印刷面を内側に折り、保管をお願い致します。



ADVENTURE

skyticket

NO. 725492

様

泉佐野市議会チーム泉佐野創生

領収証

上記、正に領収いたしました

〒150-6024

東京都渋谷区恵比寿4-20-3

恵比寿ガーデンプレイスタワー24F

株式会社アドベンチャー

¥70,320-

但し、1月17日・18日航空チケット代として

入金日： 2018/12/03

発行日： 2019/02/27

支払い方法： コンビニ決済

整理
番号

貼付欄 (一部充当・按分の場合は、余白に按分率、政務活動費支出額等を記載)

ご利用ありがとうございます。



泉佐野市関空橋税

料会所では一旦停車してください。

領 収 書

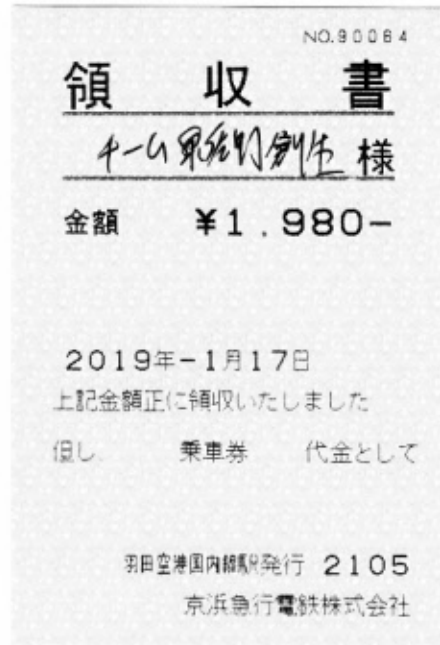
料金所 関西国際空港
TEL 072-455-2278
<関空橋税に関するお問合せ先>
泉佐野市総務部税務課
TEL 072-463-1212

19年 1月17日 5時24分
車種 軽二

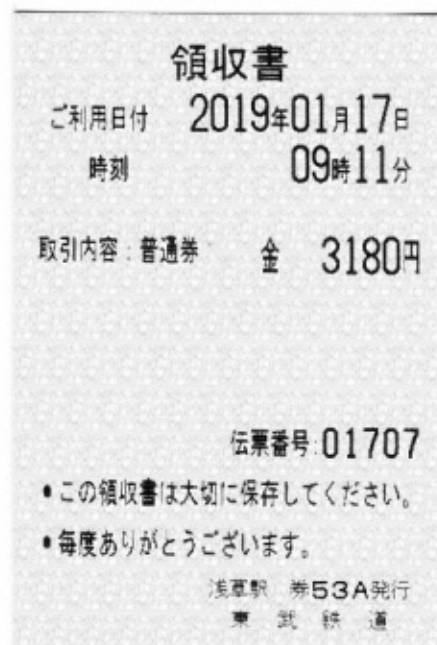
通行料金 ¥720-
(内訳)
現金(西日本) ¥620-
現金関空橋税 ¥100-

空港連絡橋利用税(関空橋税)は、泉佐野市が
空港連絡橋の通行料金を支払う者に課税す
る地方税で、消費税は不課税です。

西日本高速道路株式会社
大阪府大阪市北区基島1-6-20
取扱番号2010-030000



660円×3枚



※ 1ページに複数枚のはり付け可。(ただし、重ならないようにはり付けること。)

1090円×3枚

1060円×3枚

整理
番号

貼付欄 (一部充当・按分の場合は、余白に按分率、政務活動費支出額等を記載)

領収書

No. 00001680-00
2019/01/18

泉佐野市議会 チーム泉佐野創生 様

金額 ￥7,050-

(内消費税 ￥522)

但し、ご宿泊代
(現金)

として、

上記金額正に領収いたしました。

ホテルルートイン太田

〒373-0817 群馬県太田市飯塚町1712
TEL:0276-60-2600 FAX:0276-60-3310
ルートインジャパン株式会社
作成地：東京都品川区大井1-35-9

印紙税申告納
付につき品川
税務署承認済

担当者



領収書

No. 00001679-00
2019/01/18

泉佐野市議会 チーム泉佐野創生 様

金額 ￥7,050-

(内消費税 ￥522)

但し、ご宿泊代
(現金)

として、

上記金額正に領収いたしました。

ホテルルートイン太田

〒373-0817 群馬県太田市飯塚町1712
TEL:0276-60-2600 FAX:0276-60-3310
ルートインジャパン株式会社
作成地：東京都品川区大井1-35-9

印紙税申告納
付につき品川
税務署承認済

担当者



領収書

No. 00001679-01
2019/01/18

泉佐野市議会 チーム泉佐野創生 様

金額 ￥7,050-

(内消費税 ￥522)

但し、ご宿泊代
(現金)

として、

上記金額正に領収いたしました。

ホテルルートイン太田

〒373-0817 群馬県太田市飯塚町1712
TEL:0276-60-2600 FAX:0276-60-3310
ルートインジャパン株式会社
作成地：東京都品川区大井1-35-9

印紙税申告納
付につき品川
税務署承認済

担当者



領収書貼付用紙

会派・議員名 チーム泉佐野創生

整理
番号

貼付欄 (一部充当・按分の場合は、余白に按分率、政務活動費支出額等を記載)

領収書

ご利用日付 2019年01月18日
時刻 10時48分

取引内容：普通券 金 3180円

伝票番号 58243

- この領収書は大切に保存してください。
- 毎度ありがとうございます。

太田駅 券01 発行
東武鉄道

領収書

ご利用日付 2019年01月18日
時刻 10時49分

取引内容：特急券 金 3090円

伝票番号 58244

- この領収書は大切に保存してください。
- 毎度ありがとうございます。

太田駅 券01 発行
東武鉄道

領収証

泉佐野創生 様

ご利用日付 2019年-1月18日
時刻 15時08分

取引内容：きっぷ購入
購入金額 金 480円

印紙税申告済
付につき漢字
事務署承認済

お支払方法 内訳
現金 金 480円

伝票番号 72410

- この領収証は大切に保存してください。
- ご利用ありがとうございます。

東京駅 券275発行
JR東日本

領収証

利用年月日 2019年01月18日

取引内容 乗車券発売
ご利用金額 1470円

- 毎度ありがとうございます。
- この領収証は大切に保存してください。

発売駅名 モノレール浜松町
券番号 A07
伝票番号 8416

東京モノレール株式会社

領収証

000-046358

領収日 2019-1-18 18:28
領収額 ¥980-
購入商品・乗車券類
2枚

支払方法・現金

南海電気鉄道株式会社

関西空港34

※ 1ページに複数枚のはり付け可。(ただし、重ならないようにはり付けること。)

学校法人太田国際学園ぐんま国際アカデミー視察報告書

(1)日付：平成 31 年 1 月 17 日（木）

(2)行先：群馬県太田市 学校法人太田国際学園ぐんま国際アカデミー初等部

(3)目的

関西国際空港直結都市であり、国際都市宣言を行なった本市に求められる真の国際人育成のあり方とその拠点となる新たな学校のあり方を調査するため

(4)概要

学校法人太田国際学園 ぐんま国際アカデミーは、平成 15 年度に内閣府から外国語教育特区構想の認定を受け、平成 17 年度に初等部、平成 20 年度に中等部、平成 23 年度に高等部が開校した、英語による教育を行う英語イマージョン教育を実施する、全国初の私学の小中高一貫校です。

この特区構想には、①太田市は輸送機器産業を中心として大規模工業団地の造成による優良企業の誘致により、北関東屈指の製造品出荷額（現在 2 兆 8,000 万円と全国第 11 位）を誇る工業都市として発展を続けており、海外に現地法人を置く企業も多く、英語を自由に使える人材、真の国際人の育成が求められていたこと、②永い時間を費やして英語を学んでいるにもかかわらず英語を使いこなすまでの力が身につかない公教育における英語教育の壁、という背景がありました。

太田外国語教育特区構想は、「国際社会に生きる日本人として、世界のあらゆる人々と協調し、国際交流などを積極的に行っている資質と能力を備え、さらに外国語による実践的なコミュニケーション能力を身につけた国際人としての人材育成を目標」としており、これを実現するために、①小中高一貫校を市と民間活力によって設立し、②学習指導要領に基づいた検定教科書の英語版を教材として用い、③国語と社会以外の授業をネイティブの教員が英語で行う英語イマージョン教育を実践するなど、子ども達が生きた英語や世界に通用する感性・国際感覚を身につけられる教育環境を構築することが計画されていました。

上述の英語イマージョン教育に加え、29 人から 36 人のクラスを半分に分け

て一方は英語、他方は国語といった形できめ細かな指導を行っていました。また、限られた空間で全てをこなすのではなく、各プログラム・カリキュラムごとに最適な場所、自由な空間へ児童生徒が移動して学ぶオープン教育も取り入れられ、各教室と廊下の間に壁は存在していませんでした。授業は、ネイティブの外国人教師とバイリンガルの日本人教師による2人1組の指導体制のチームティーチングが行われ、英語で活発なやりとりが繰り広げられていました。

音楽の授業では、児童たちが英語で元気よく、自然に歌う練習をしていました。1人1つの楽器を演奏できるようにし、6年生ではバンドを結成し、学校内外で演奏しているそうです。音楽の授業は、耳から学ぶことから、英語イマージョン教育と連動する重要な役割を担っているのだそうです。

英語で行われている算数の授業も、とても斬新でした。算数の文章題も全て英語な上に、引っ掛け問題があるので大人の自分も考えさせられました。国語や社会は日本語で行われていました。教室には書道の作品が飾られていて、しっかりと日本の文化も大切にされた教育が行われていることが印象深かったです。

ホームルームの時間も視察させていただいたのですが、本日の振り返り、明日の宿題・予定、保護者への伝達事項もすべて英語で行われるので、驚愕しました。1年生も秋頃から英語を聞いて話せるようになるようです。6年生においては感情移入した英語のやりとりが行われている姿を目の当たりにして、レベルの違いを見せつけられました。

小学校卒業時に英語検定準2級、中学校卒業時で2級から準1級、高校卒業時で1級を取得するレベルに達するそうで、中には6年生で1級に合格する児童もいるそうです。あくまでインターナショナルスクールではなく、学校教育法第1条に定められた学校として全国学力テストも受験するそうで、全国平均より上回る成績の中でも論理的思考力の分野で好成績とのことでした。

英語を学ぶのが目的ではなく、英語を媒介として物事を客観的に捉える力、健全な批判精神を持った客観的な思考であるクリティカルシンキングを養い、日本の文化を理解し、人種・国籍・世界観の違いにとらわれない真の国際人への成長・育成をめざす学校として、既成概念にとらわれない教育を実施されている様子がよくわかりました。

(5)所感

先の選挙で第一の公約として掲げさせていただいた、官民一体・小中一貫型のインターナショナルスクールの設置の可能性を模索すべく、ぐんま国際アカデミーを視察先に選定させていただきました。

関西国際空港直結都市であり、国際都市宣言を行なった泉佐野市としては、どこよりも国際教育に力を入れるべき自治体であることは言うまでもなく、益々飛躍する関西国際空港における雇用とインバウンドは増加し続ける一方の中、日本の伝統文化を理解し、英語を使いこなせる真の国際人の育成は喫緊の課題です。

今回視察させていただいたぐんま国際アカデミーは、まさにこの泉佐野市にこそ必要な教育施設であると確信しました。今回の視察の対応をしてくださったのが理事長（現太田市長）、初等部校長、事務局長、この構想をコーディネートした民間事業者であり保護者の方でした。

理事長による設立時の確固たる信念と国・県との駆け引きのお話、校長の学校教育の理念のお話、事務局長による学校経営のお話、保護者の方による当学校との係わりに関する具体的なお話が、多角的にこの学校の魅力と必要性を証明してくださいました。

当学校に通うおよそ1,000人の児童生徒の半分は他県、他市町出身で、その内半分が太田市に移住してこられるそうです。当学校がある限り、戸建てやマンションを購入しても新たに当学校に入学したい家族に売却できる資産価値を有するそうで、定住促進と空き家対策が同時に実現するといった点からも、まちのあらゆる力を伸ばすためには教育に力を入れなければならない、と改めて実感させられました。

これからのシティプロモーションは何でも安いまちではなく、教育力が高かったり、まちなみが綺麗だったり、そのまちに住むことがプライドになったり、といった高付加価値のまちづくりによるシティプロモーションが求められていると確信しています。

これから益々アジアのインバウンドを取り込む関西国際空港を擁する泉佐野市としては、国際教育に特化した教育の展開は、必然的なブランディングが図られるので、まちの価値を大きく飛躍させることは間違いありません。

このまちの未来を確固たるものにすべく、公教育が抱える限界を打破すべく、産官学民が一体となった、国際教育に特化した新たな学校の創設に向けて、これからの提案を続けてまいります。

ご対応いただいた太田市長、ぐんま国際アカデミーの皆さま、予定時刻はるかに上回る白熱した貴重な機会を頂戴し、心から感謝申し上げます。

群馬県太田市公共交通視察報告書

(1)日付：平成 31 年 1 月 18 日（金）

(2)行先：群馬県 太田市役所

(3)目的

超高齢社会における市民の移動の利便性を確保する観点から、コミュニティバスに加え、ダイヤモンド型（電話予約で停留所から停留所まで送迎）の送迎バスを含めた公共交通の在り方を調査するため

(4)概要

太田市は、東京から 100km 圏内にあり、群馬県の東南部に位置しており、面積 175.54 km²、人口 224,635 人を有するまちです。平成 8 年度から公共路線バスを導入、平成 18 年度にスクールバスの導入、平成 22 年度にデマンド方式の「おうかがい市バス」の導入、平成 30 年度には市営無料バスの導入を行い、公共交通施策に大いに力を入れられています。

まず、公共路線バスについて説明させていただきます。1 路線 2 系統から出発した公共路線バスは、平成 18 年度には 11 路線 36 系統となり、現在では 3 路線 9 系統となっています。利用者数は年間約 5 万人で、総事業費 2,670 万円の内、事業収入が 600 万円となっており、そこに市から 2,000 万円の赤字補填の補助、群馬県から 140 万円の補助が行われて、運行が成り立っています。

次に、デマンド方式の「おうかがい市バス」についてです。利用者数の減少傾向に対する市民からの声があり、平成 22 年度より路線バスを 2 路線 4 系統まで縮小し、その財源をもって福祉的な利用者限定する趣旨から導入に至りました。

導入当初は、利用料無料で市外の医療機関まで送迎を行ったことから、一般旅客運送事業者及び福祉有償運送事業者から民業を圧迫しているとの厳しい声もあり、平成 23 年度から市外医療機関への送迎を取りやめ、最寄り駅までの

送迎とする方法を取り、平成 24 年度からは一般旅客運送事業者に運行委託し、ドア to ドアからバス停留所方式に変更しました。

現在は、10 人乗りワンボックス車 6 台を一般旅客運送事業者からリースし、市内全域を一区域とした 765 箇所のバス停留所の間を送迎する形を採っています。利用対象者は①65 歳以上の高齢者で自転車以外の移動手段を持たない者（介護サービス利用者及び福祉有償運送の利用者を除く）、②その他特別の理由により視聴が認められた者で自力にてバスに乗降できる者で、市から利用登録認定を受けた者です。営業時間は土・日曜日及び祝日を除く平日の午前 7 時から午後 4 時までで、予約は 1 週間前から前日までにする必要があります。

おうかがい市バスの収支実績は平成 29 年度で、委託料 5,600 万円で利用者数が 32,500 人となっており一人当たりの経費が 1,700 円となっています。1 回の利用料金が 100 円なので、収入は 3,250 万円で、実質 2,350 万円の赤字補填となっています。利用実績は、登録者数が 3,700 人いますが、実際に利用している人は 1,000 人程という状況みたいです。

最後に、市営無料バスについてです。従前から市直営で 23 台のスクールバスを運行しているので、登下校時以外の運転手及び車両の空き時間を活用し、平成 30 年度から無料で新たな路線バスの運行を開始しました。

西バス系統 4 台と東バス系統 4 台の合計 8 台のマイクロバスを。月曜日から金曜日の午前 6 時 30 分から午後 8 時 30 分に、ショッピングモールや公民館、医療機関、銭湯等がルートに含まれています。利用者数は月平均約 3,000 人で合計 27,000 人程の利用者数となっています。

公共路線バス、デマンド方式バス、市営無料バス、スクールバスの運行の総事業費は約 1 億 2,000 万円程で、今後は費用対効果をさらに検証し、公共交通と教育、福祉、それぞれの政策的観点におけるより良い結論を導き出していきたい、とのお話を伺いました。コンパクトシティの実現はもとより、周辺市町との広域的な公共交通のあり方も模索していかれるとのお話も伺いました。

(5)所感

太田市は、上述した通り民間業者から民業圧迫の批判の声があり試行錯誤を繰り返し、ドア to ドア方式から停留所方式に移行された経緯があったので、視察先に選定させていただきました。

デマンド方式バスについては、5,600 万円の事業を 1,000 人程しか利用していない実態（一人あたり 56,000 円の経費）については税の公平性の観点からは非

常に厳しい事業であると痛感しました。

今後、益々高齢化率が上昇する社会の中で、住みなれた地域で住み良い環境を享受するためには、移動の利便性の向上が最も必要とされる施策となってくることは間違いありません。

現状、本市では3路線のコミュニティバスを無料で運行しており、充実した公共交通網を張り巡らせているのですが、市民の方々からの要望としては逆回りの路線も運行してほしいとの声も多数あります。

税金を投入させていただいている限り、費用対効果と市民の生活実態、要望をしっかりと調査させていただいた上で、新たな公共交通政策のあり方を研究する必要があります。そこに収益性が見込まれる産学官民連携の公共交通政策のあり方を加味する必要もあります。

市民が必要とする買い物や診療、交流などを基軸としたルート再編を行い、そこに収益性のあるショッピングモールや診療所等のみをピックアップした逆回りルートの導入による利便性の向上に加え、広告収入等を得られる事業にすべきだと考えています。

民間事業者の経営と市の財政運営を圧迫することなく、市民生活の利便性の向上が図られる最前手たる公共交通政策のあり方を、他市町とも行き来できる広域交通も視野に入れながら、さらなる調査・研究を行ってまいります。

ご対応いただいた太田市議会議員、太田市職員の方々、貴重な機会を頂戴し、心から感謝申し上げます。

泉佐野市東京事務所視察報告書

(1)日付：平成 31 年 1 月 18 日（金）

(2)行先：泉佐野市東京事務所

(3)目的

あらゆる価値観やヒト・モノ・カネ・情報が集う東京に設置した本市事務所の業務内容を調査するため

(4)概要

地方と首都圏とのつながりを強化し、地方への交流人口・関係人口の増加や将来的な移住定住の促進など、本市がさらに活性化することを目的として首都圏活動を展開するため、東京事務所を開設し、以下の業務を行っています。

- ・関係省庁との連絡調整、要望活動
- ・市政の情報発信
- ・本市の特産品や観光資源などのプロモーション活動
- ・(仮称)東京いずみさの会の会員募集と運営

その他に、東京で活躍する人材とのコンタクトを図り、本市のプロモーションを行うとともに、本市に活用できるサービスや技術の情報収集を行っています。

(5)所感

本市の職員が、日本の最前線で様々な分野で活躍する人材と接触する意義は非常に大きいと感じました。そこで得た物事を本市にフィードバックすることで、新たな化学反応が起り得る可能性に期待できる話がたくさんありました。

東京を行き交うヒト・モノ・カネ・情報を最先端でキャッチし、本市の発展に活かせるよう、こちらから派遣職員を年度内に何回かに分けて派遣し、所長はじめ東京の方々と交流すべきだと考えます。そうすることで、職員の意識改革を促す貴重な機会になると確信いたしました。

(様式:会-1)

議長	副議長	議長	次長	委員	主幹	係長	原員
大和屋	大和屋	大和屋	堀口			松本	

平成30年7月2日

泉佐野市議会 議長 様

(会派名) チーム泉佐野創生

(代表者名) 向江 英雄



研修会等開催報告書

このたび、会派として研修会兼報告会を開催しましたので、下記のとおり報告いたします。

記

開催日時	平成30年6月28日(木) 19時30分 ~ 20時30分
会議名称	第57回市政勉強会 まちづくりの和泉
使用会場	エブノ泉の森ホール 2階 和室L
参加人数	5人
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・大和屋貴彦の議員活動の近況報告 ・6月議会報告
その他(特記事項)	



泉の森ホール利用許可書

申請番号 30-2338-00

平成 30年 5月 19日

利用 者	住 所	〒598-0021 大阪府泉佐野市日根野1008	
	団 体 名	泉佐野市議会議員 大和屋貴彦	
	氏名(代表者)	大和屋 貴彦	
	連 絡 先	No. 005689	電話 XXXXXXXXXX

利用目的	行事の名称 第57回 市政勉強会 まちづくりの和泉				開 場	開 演	終 演			
	行事の内容 市政報告会・意見交換									
					1回					
					2回					
利用年月日	利用施設・附属設備等	利用区分				定員 入場予定者	利用時間	(円) 利用料		
		午前	午後	夜間	全日					
30/ 6/28 (木)	和室L			○		30	18:00~22:00	1,700		
会場責任者	住 所 〒598-0021 大阪府泉佐野市日根野1008				氏 名 大和屋 貴彦 電話番号 XXXXXXXXXX					
入 場 方 法	営 利	共催・後援者名		備 考	金 額	施 設	1,700円			
有料 最高 円	営 利					附属設備等	0円			
入場自由						利 用 料 合 計		1,700円		
○ 関係者	○ 非営利					打合せ予定日		年 月 日 曜 時頃	利用料納付日	30年 5月 19日
整理券						年 月 日 曜 時頃		利用料納付日	30年 5月 19日	
その他	打合せ予定日			年 月 日 曜 時頃	利用料納付日	30年 5月 19日				

注意事項 ※ 利用日及び利用施設の変更は利用内容の変更には該当しませんのでご了承ください。

上記のとおり利用を許可します。

平成 30年 5月 19日

一般財団法人 泉佐野市文化振興
理 事 長



(様式:会-1)

供 寛	議長 和泉	副議長 野々	心長 野々	次長 堀口	参事 /	主幹 /	心長 松本	係員 高倉
--------	----------	-----------	----------	----------	---------	---------	----------	----------

平成30年7月24日

泉佐野市議会議長 様

(会派名) チーム泉佐野創生

(代表者名) 向江 英雄



研修会等開催報告書

このたび、会派として研修会兼報告会を開催しましたので、下記のとおり報告いたします。

記

開催日時	平成30年7月19日(木) 19時30分 ~ 20時30分
会議名称	第58回市政勉強会 まちづくりの和泉
使用会場	エブノ泉の森ホール 2階 和室L
参加人数	4人
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・大和屋貴彦の議員活動の近況報告 ・視察報告 ①鹿児島県霧島市「議会のICT化・住民参加」 ②宮崎県都城市「ふるさと納税の現状・公共施設の複合化」
その他(特記事項)	



泉の森ホール利用許可書

申請番号 30-2365-00

平成 30年 5 月 24 日

利用 者	住 所	〒598-0021 大阪府泉佐野市日根野1008	
	団 体 名	泉佐野市議会議員 大和屋貴彦	
	氏名 (代表者)	大和屋 貴彦	
	連 絡 先	No. 005689	電話 XXXXXXXXXX

利用目的	行事の名称 第58回 市政勉強会 まちづくりの和泉					開 場	開 演	終 演		
	行事の内容 市政報告会・意見交換					1回				
						2回				
利用年月日	利用施設・附属設備等	利 用 区 分				定 員 入場予定者	利 用 時 間	(円) 利 用 料		
		午前	午後	夜間	全日					
30/ 7/19 (木)	和室L			○	30	18:00~22:00	1,700			
会場責任者	住 所 〒598-0021 大阪府泉佐野市日根野1008				氏 名 大和屋 貴彦 電話番号 XXXXXXXXXX					
入 場 方 法	営 利	共催・後援者名			金 額	施 設	1,700円			
有料 最高 円	営 利	備 考				附属設備 等	0円			
入場自由						○ 非営利	利 用 料 合 計		1,700円	
○ 関係者	打合せ予定日						年 月 日 曜 時頃	利用料納付日	30年 5月 24日	
整理券	年 月 日 曜 時頃						利用料納付日	30年 5月 24日		
その他	年 月 日 曜 時頃				利用料納付日	30年 5月 24日				

注意事項 ※ 利用日及び利用施設の変更は利用内容の変更には該当しませんのでご了承ください。

上記のとおり利用を許可します。

平成 30年 5 月 24日

一般財団法人 泉佐野市文化振興
理 事 長



領収書貼付用紙^{ちよう}

会派・議員名 チーム泉佐野創生

整理番号 貼付欄 (一部充当・按分の場合は、余白に按分率、政務活動費支出額等を記載)

30-0374

領 収 書

(平成 30 年度)

泉佐野市議会議員 大和屋貴彦

様

金	額		百	拾	万	千	百	拾	円
					¥	1	7	0	0

但し 泉佐野市立文化会館 許可番号 30-2338-00 の利用料

上記のとおり領収しました。

平成 30 年 5 月 19 日

泉佐野市市場東1-295-1
 (一財) 泉佐野市文化振興財団
 出納役



30-0407

領 収 書

(平成 30 年度)

泉佐野市議会議員 大和屋貴彦

様

金	額		百	拾	万	千	百	拾	円
					¥	1	7	0	0

但し 泉佐野市立文化会館 許可番号 30-2365-00 の利用料






上記のとおり領収しました。

平成 30 年 5 月 24 日

泉佐野市市場東1-295-1
 (一財) 泉佐野市文化振興財団
 出納役



(様式:会一1)

供覧	議長	副議長	内長	次長	参事	主幹	係長	係員
								

平成30年9月3日

泉佐野市議会議長様

(会派名) チーム泉佐野創生

(代表者名) 向江 英雄

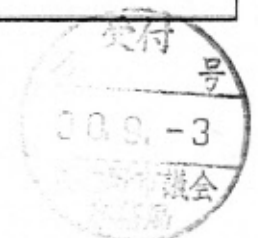


研修会等開催報告書

このたび、会派として研修会兼報告会を開催しましたので、下記のとおり報告いたします。

記

開催日時	平成30年8月23日(木) 19時30分 ~ 20時30分
会議名称	第59回市政勉強会 まちづくりの和泉
使用会場	エブノ泉の森ホール 2階 和室L
参加人数	6人
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・大和屋貴彦の議員活動の近況報告 ・モンゴル友好交流事業の報告
その他(特記事項)	



泉の森ホール利用許可書

申請番号 30-2681-00

平成30年 7月 19日

利用者	住所	〒598-0021 大阪府泉佐野市日根野1008	
	団体名	泉佐野市議会議員 大和屋貴彦	
	氏名(代表者)	大和屋 貴彦	
	連絡先	No. 005689	電話 XXXXXXXXXX

利用目的	行事の名称 第59回 市政勉強会 まちづくりの和泉					開場	開演	終演
	行事の内容 市政報告会・意見交換					1回		
						2回		
利用年月日	利用施設・附属設備等	利用区分				定員 入場予定者	利用時間	(円) 利用料
		午前	午後	夜間	全日			
30/ 8/23 (木)	和室L			○		30	18:00~22:00	1,700
会場責任者	住所 〒598-0021 大阪府泉佐野市日根野1008				氏名 大和屋 貴彦			
					電話番号 XXXXXXXXXX			
入場方法	営利	共催・後援者名			金額	施設	1,700円	
有料 最高 円	営利	備考				附属設備等	0円	
入場自由						○ 非営利	利用料合計	
○ 関係者	打合せ予定日						年 月 日 曜 時頃	利用料納付日
整理券								
その他								







注意事項 ※ 利用日及び利用施設の変更は利用内容の変更には該当しませんのでご了承ください。

上記のとおり利用を許可します。
平成 30年 7月 19日

一般財団法人 泉佐野市文化振興
理事 長



(様式:会-1)

供	議長	副議長	市長	次長	参事	主幹	係長	係員
								

平成30年10月1日

泉佐野市議会議長 様

(会派名) チーム泉佐野創生

(代表者名) 向江 英雄



研修会等開催報告書

このたび、会派として研修会兼報告会を開催しましたので、下記のとおり報告いたします。

記

開催日時	平成30年9月27日(木) 19時30分 ~ 20時30分
会議名称	第60回市政勉強会 まちづくりの和泉
使用会場	エブノ泉の森ホール 2階 和室L
参加人数	11人
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・大和屋貴彦の議員活動の近況報告 ・台風第21号災害対策 ・9月議会報告 ①議案説明 ②審議結果 ③りんくう総合医療センターの現状 ④関西国際空港の現状 ⑤行財政の現状
その他(特記事項)	



(様式:会-1)

供	議長	副議長	議長	次長	参事	主幹	係長	係員
和泉市	和泉市	和泉市	和泉市	和泉市			和泉市	和泉市

平成30年12月3日

泉佐野市議会議長様

(会派名) チーム泉佐野創生

(代表者名) 向江 英雄

研修会等開催報告書

このたび、会派として研修会兼報告会を開催しましたので、下記のとおり報告いたします。

記

開催日時	平成30年11月22日(木) 19時30分 ~ 20時30分
会議名称	第62回市政勉強会 まちづくりの和泉
使用会場	エブノ泉の森ホール 2階 和室L
参加人数	5人
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・大和屋貴彦の議員活動の近況報告 ・厚生文教委員会行政視察報告(八王子市の八高連・稲城市の介護支援サポーター) ・泉佐野市田尻町清掃施設組合行政視察報告(四交クリーンセンター)
その他(特記事項)	



泉の森ホール利用許可書

申請番号 30-3050-00

平成 30年 9月 26日

利用者	住 所	〒598-0021 大阪府泉佐野市日根野1008	
	団 体 名	泉佐野市議会議員 大和屋貴彦	
	氏名 (代表者)	大和屋 貴彦	
	連 絡 先	No. 005689	電話 XXXXXXXXXX

利用目的	行事の名称 第60回 市政勉強会 まちづくりの和泉				開 場	開 演	終 演	
	行事の内容 市政報告会・意見交換				1回			
					2回			
利用年月日	利用施設・附属設備等	利 用 区 分				定 員 入場予定者	利 用 時 間	(円) 利 用 料
		午前	午後	夜間	全日			
30/ 9/27 (木)	和室L			○		30	18:00~22:00	1,700
30/11/22 (木)	和室L			○		30	18:00~22:00	1,700
会場責任者	住 所 〒598-0021 大阪府泉佐野市日根野1008				氏 名 大和屋 貴彦 電話番号 XXXXXXXXXX			
入 場 方 法	営 利	共催・後援者名		備考		金 額	施 設	3,400円
有料 最高 円	営 利	備考					附属設備等	0円
入場自由							利 用 料 合 計	
○ 関係者	○ 非営利						打合せ予定日	
整理券				年 月 日 曜 時頃		利用料納付日	30年 9月 26日	
その他	打合せ予定日		年 月 日 曜 時頃		利用料納付日	30年 9月 26日		

注意事項 ※ 利用日及び利用施設の変更は利用内容の変更には該当しませんのでご了承ください。

上記のとおり利用を許可します。
平成 30年 9月 26日

一般財団法人 泉佐野市文化振興
理 事 長



30-0830

領 収 書

(平成 30 年度)

泉佐野市議会議員 大和屋貴彦

様

金	額		百	拾	万	千	百	拾	円	
					¥	1	7	0	0	

但し 泉佐野市立文化会館 許可番号 30-2681-00 の利用料

上記のとおり領収しました。

平成 30 年 7 月 19 日

泉佐野市市場東 1-295-1
 (一財) 泉佐野市文化振興財団
 出納役

30-1313

領 収 書

(平成 30 年度)

泉佐野市議会議員 大和屋貴彦

様

金	額		百	拾	万	千	百	拾	円	
					¥	3	4	0	0	






但し 泉佐野市立文化会館 許可番号 30-3050-00 の利用料

上記のとおり領収しました。

平成 30 年 9 月 26 日

泉佐野市市場東 1-295-1
 (一財) 泉佐野市文化振興財団
 出納役

(様式:会-1)

供	議長	副議長	議長	議長	主幹	係長	係員
				/			

平成30年11月5日

泉佐野市議会議長 様

(会派名) チーム泉佐野創生

(代表者名) 向江 英雄



研修会等開催報告書

このたび、会派として研修会兼報告会を開催しましたので、下記のとおり報告いたします。

記

開催日時	平成30年10月25日(木) 19時30分 ~ 20時30分
会議名称	第61回市政勉強会 まちづくりの和泉
使用会場	長南公民館 3階 会議室
参加人数	5人
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・大和屋貴彦の議員活動の近況報告 ・全小中学校巡回視察報告
その他(特記事項)	



泉佐野市立公民館使用許可書

平成30年9月29日

申請者 泉佐野市議会議員大和屋貴彦 様

一般財団法人泉佐野市文化振興財



申請のあった泉佐野市立公民館の使用について次のとおり許可します。

団 体 名	泉佐野市議会議員大和屋貴彦			
使用責任者	氏名	大和屋 貴彦		
	住所	泉佐野市日根野1008		
使用する施設	泉佐野市立長南公民館			
使用室名	会議室			
使用日	平成30年10月25日			
使用時間	午後6時～午後9時			
使用料	600 円	円	円	円
使用料 (合計金額)	600 円			
使用する設備				
備 考	82			

※ 使用者は、使用の許可をうけたときに、使用料を納付してください。

※ 使用料の還付を受ける場合は、**使用日の10日前までに泉佐野市立公民館使用料還付申請書を提出してください。**(使用許可書及び申請者の印鑑を持参してください。)

※使用者は使用当日に、この許可書を必ずご持参ください。

一般財団法人
泉佐野市文化振興財団
(長南公民館)

〒598 0035
大阪府泉佐野市南中樫井1
TEL: 072-465-0786

領 収 書

大井屋 豊彦

様

2018年 9月29日 11:49
003544

施設利用料	600
内税対象計	¥600
内税 8.0%	(¥44)
現金	¥600

開館時間 09:00-21:00(火~土曜日)
09:00-17:00(日曜日)
休館日 毎週月曜日・祝日。
※ 日、月曜日が祝日の場合は開館し
直近の開館日が休館

(様式:会-1)

供	議長	副議長	常任	参事	主幹	係長	係員

平成31年1月7日

泉佐野市議会議長 様

(会 派 名) チーム泉佐野創生

(代 表 者 名) 向江 英雄



研修会等開催報告書

このたび、会派として研修会兼報告会を開催しましたので、下記のとおり報告いたします。

記

開催日時	平成30年12月27日(木) 19時30分 ~ 20時30分
会議名称	第63回市政勉強会 まちづくりの和泉
使用会場	エブノ泉の森ホール 2階 和室L
参加人数	4人
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・大和屋貴彦の議員活動の近況報告 ・12月定例会報告 審議結果報告(別紙参照) 各委員会報告 <ul style="list-style-type: none"> ・関空りんくうまちづくり特別委員会 ・行財政委員会 ・りんくう総合医療センター対策委員会
その他(特記事項)	



(様式:会-1)

六	議長	副議長	議員	議員	議員	議員	議員	議員	議員
寛	和屋	野村	堀口						

平成31年2月4日

泉佐野市議会議長 様

(会 派 名) チーム泉佐野創生

(代 表 者 名) 向江 英雄



研修会等開催報告書

このたび、会派として研修会兼報告会を開催しましたので、下記のとおり報告いたします。

記

開催日時	平成31年1月24日(木) 19時30分 ~ 20時30分
会議名称	第65回市政勉強会 まちづくりの和泉
使用会場	エブノ泉の森ホール 2階 和室L
参加人数	10人
内 容	・大和屋貴彦の議員活動の近況報告 ・視察報告 ①ぐんま国際アカデミーの国際教育 ②群馬県太田市のデマンド方式の公共交通
その他(特記事項)	



泉の森ホール利用許可書

申請番号 30-3382-00

平成 30年 11月 23日

利用者	住所	〒598-0021 大阪府泉佐野市日根野1008	
	団体名	泉佐野市議会議員 大和屋貴彦	
	氏名(代表者)	大和屋 貴彦	
	連絡先	No. 005689	電話 XXXXXXXXXX

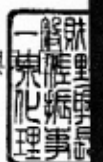
利用目的	行事の名称 市政勉強会				開場	開演	終演	
	行事の内容 市政報告会・意見交換				1回			
					2回			
利用年月日	利用施設・附属設備等	利用区分				定員 入場予定者	利用時間	(円) 利用料
		午前	午後	夜間	全日			
30/12/27 (木)	和室L			○		30	18:00~22:00	1,700
31/ 1/24 (木)	和室L			○		30	18:00~22:00	1,700
会場責任者	住所 〒598-0021 大阪府泉佐野市日根野1008				氏名 大和屋 貴彦 電話番号 XXXXXXXXXX			
入場方法	営利	共催・後援者名		備考		金額	施設	3,400円
有料最高 円	営利						附属設備等	0円
入場自由							利用料合計	
○ 関係者 整理券	○ 非営利						3,400円	
その他	打合せ予定日	年	月	日	曜	時頃	利用料納付日	30年11月23日

注意事項 ※ 利用日及び利用施設の変更は利用内容の変更には該当しませんのでご了承ください。

上記のとおり利用を許可します。

平成 30年 11月 23日

一般財団法人 泉佐野市文化振興
理 事 長



30-1734

領 収 書

(平成30年度)

泉佐野市議会議員 大和屋貴彦

様

金	額		百	拾	万	千	百	拾	円	
					¥	3	4	0	0	

但し 泉佐野市立文化会館 許可番号 30-3382-00 の利用料

上記のとおり領収しました。

平成30年11月23日

泉佐野市市場東1-295-1
(一財) 泉佐野市文化振興財団
出納役

供 覧	議長	副議長	議長	次長	参事	主幹	係長	係員
	和屋	和屋	和屋	堀口			松本	高倉

(様式:会-1)

平成31年2月1日

泉佐野市議会議長 様

(会 派 名) チーム泉佐野創生

(代 表 者 名) 向江 英雄



研修会等開催報告書

このたび、会派として研修会兼報告会を開催しましたので、下記のとおり報告いたします。

記

開催日時	平成31年1月19日(土) 18時30分 ~ 19時30分
会議名称	第64回市政勉強会 まちづくりの和泉
使用会場	エブノ泉の森ホール 2階 レセプションホール
参加人数	160人
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・大和屋貴彦の議員活動の近況報告 ・りんくう総合医療センター産婦人科部長の荻田和秀先生をお招きした講演会「奇蹟のすぐそばに いるということⅡ ~大阪の周産期医療と子育て支援~」を開催
その他(特記事項)	荻田和秀医師の講演により、泉州地域における分娩数の減少傾向、その対策としての今後の病院の動き、医療のあり方について学ばせていただいた。それに合わせてオキシトシンの働きの重要性、それを活かしたまちづくりのご提案をいただきました。現在、産後ケアハウスに力を入れているという現状も拝聴させていただき、講演の締めくくりに、泉佐野市はお産と子育てがしやすい環境が整っているまちであるというご評価を改めていただきました。



平成31年1月19日

請 求 書

泉佐野市議会議員・大和屋貴彦 様

(一財)泉佐野市文化振興財団
理事長 向井 新
〒598-0005 泉佐野市市場東1-295
TEL072-469-7101 FAX072-469-7101



この度は、エブノ泉の森ホールのご利用申し込みをいただき誠にありがとうございます。
つきましては、施設・付属設備に係る利用料の御請求を申し上げますので下記金額を
お支払い下さいますよう、お願い申し上げます。

御請求金額合計 22,500 円

[御利用明細]



利用日時	利用施設・附属設備等	利用時間帯			利用時間	利用料
		午前	午後	夜間		
H31/01/19(土)	レセプションホール			○	18:00-22:00	17,800
H31/01/19(土)	講師控室			○	18:00-22:00	600
H31/01/19(土)	附属設備一式			○	18:00-22:00	4,180
	施設合計より100円未満切り捨て					-80
利 用 料 合 計 請求金額は、施設利用料合計・附属設備利用料合計を其々100円未満切捨てした後合算した金額となります						22,500

振込
口座



※ お振込みの場合、振込手数料はお客様負担をお願い致します。

(様式:会-1)

供覧	議長	副議長	心長	次長	参考	主幹	係長	係員
								

平成31年3月11日

泉佐野市議会議長 様

(会 派 名) チーム泉佐野創生

(代 表 者 名) 向江 英雄



研修会等開催報告書

このたび、会派として研修会兼報告会を開催しましたので、下記のとおり報告いたします。

記

開催日時	平成31年2月28日(木) 19時30分 ~ 20時30分
会議名称	第66回市政勉強会 まちづくりの和泉
使用会場	エブノ泉の森ホール 2階 和室L
参加人数	7人
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・大和屋貴彦の議員活動の近況報告 ・3月議会説明 ・ふるさと納税の現状
その他(特記事項)	



(様式:会-1)

供	議長	副議長	局長	次長	主任	係長	主任	係員
大和屋	大和屋	大和屋	堀口	松本	松本	松本	松本	永金佑

平成31年4月8日

泉佐野市議会議長 様

(会 派 名) チーム泉佐野創生

(代 表 者 名) 向江 英雄



研修会等開催報告書

このたび、会派として研修会兼報告会を開催しましたので、下記のとおり報告いたします。

記

開催日時	平成31年3月28日(木) 19時30分 ~ 20時30分
会議名称	第67回市政勉強会 まちづくりの和泉
使用会場	エブノ泉の森ホール 2階 和室L
参加人数	15人
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・大和屋貴彦の議員活動の近況報告 ・3月議会報告 <ul style="list-style-type: none"> ①議案説明・審議結果 ②りんくうパビリオの現況 ③りんくう総合医療センターの現状 ・新たな活動
その他(特記事項)	



泉の森ホール利用許可書

申請番号 30-3702-00

平成31年 1月 24日

利用者	住 所	〒598-0021 大阪府泉佐野市日根野1008	
	団 体 名	泉佐野市議会議員 大和屋貴彦	
	氏名 (代表者)	大和屋 貴彦	
	連 絡 先	No. 005689	電話 

利用目的	行事の名称 第66・67回 市政勉強会 まちづくりの和泉				開 場	開 演	終 演	
	行事の内容 市政報告会・意見交換				1回			
					2回			
利用年月日	利用施設・附属設備等	利 用 区 分				定 員 入場予定者	利 用 時 間	(円) 利 用 料
		午前	午後	夜間	全日			
31/ 2/28 (木)	和室L			○		30	18:00~22:00	1,700
31/ 3/28 (木)	和室L			○		30	18:00~22:00	1,700
会場責任者	住 所 〒598-0021 大阪府泉佐野市日根野1008				氏 名 大和屋 貴彦			
					電話番号 			
入 場 方 法	営 利	共催・後援者名		金 額				
有料 最高 円	営 利	備 考		館 設	3,400円			
入場自由				附 属 設 備 等	0円			
○ 関係者	○ 非 営 利			利 用 料 合 計				
整理券				3,400円				
その他	打合せ予定日	年	月	日	曜	時 頃	利用料納付日	31年 1月 24日

注意事項 ※ 利用日及び利用施設の変更は利用内容の変更には該当しませんのでご了承ください。

上記のとおり利用を許可します。

平成 31年 1月 24日

一般財団法人 泉佐野市文化振興
理 事 長



整理
番号

領 収 書

領収書番号 № 002389

泉佐野市議会議員・大和屋貴彦 様

¥ 22,500 -

但 施設利用料として

平成 31 年 1 月 20 日
上記の金額正に領収致しました



泉佐野市市場東1丁目295番地の1
一般財団法人泉佐野市文化振興財団
出納役

30-2141

領 収 書

(平成 30 年度)

泉佐野市議会議員 大和屋貴彦

様

金	額		百	拾	万	千	百	拾	円
					¥	3	4	0	0

但し 泉佐野市立文化会館 許可番号 30-3702-00 の利用料

上記のとおり領収しました。

平成 31 年 1 月 24 日

泉佐野市市場東1-295-1
(一財) 泉佐野市文化振興財団
出納役

整理
番号

貼付欄 (一部充当・按分の場合は、余白に按分率、政務活動費支出額等を記載)

領 収 証

チーム泉佐野創生
大和屋 貴彦 様 H30年12月27日

★ 790,000-

但H31年1月1日入折込料として
上記正に領収いたしました

内 訳
税抜金額
消費税額等(%)

読売センター吉見泉佐野
代表 岸和田谷
〒598-0044 泉佐野市笠松2-1
☎ (072)464-7701
FAX (072)461-2166

収入印紙 200円

コクヨ ウケ-1048

領 収 証 チーム泉佐野創生 様 No.

金額 7142,940-

但 やまやNet 新号製作・印刷費
2018年12月30日 上記正に領収いたしました

内 訳
税抜金額
消費税額等(%)

〒590-0504 大阪府泉南市信達
一般社団法人 青
代表理事 越智
TEL(072)4

収入印紙 200円

コクヨ ウケ-50

※ 1ページに複数枚のほり付け可。(ただし、重ならないようにはり付けること。)

請求書 130年12月27日 No. _____

生創野伍泉ム

大和屋 貴彦 様

下記のとおり御請求申し上げます



読売センター吉見泉佐野

代表 岸和田谷 尚史

〒598-0044 泉佐野市笠松2-1-1

TEL (072) 464-7111

(072) 465-0000

FAX (072) 461-2000

税込合計金額		税率	消費税額等		
¥90,000-		%			
月日	品名	数量	単価	金額(税抜・税込)	摘要
11	折込料	30,000	3	90,000	
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
合計				¥90,000	

2018年12月25日

請求番号: 20181229-013

請求書

チーム泉佐野創生 大和屋貴彦 様

件名: 2019年_大和屋NET 制作費・印刷費

下記のとおりご請求申し上げます。

ご請求金額 ￥142,940 -



一般社団法人 青い鳥

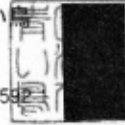
〒5900504

大阪府泉南市信達市場1542

TEL:072-424-8917

FAX:aoitori.co

bluebird88@nike.eonet.ne.jp



品番・品名	数量	単価	金額
大和屋NET 2019年 新年折込み用	35,000 部		
デザイン制作費 両面	2 面	25,000	50,000
印刷費			
【仕様】 B4サイズ・両面カラー・オフセット印刷	1 式	92,940	92,940
【加工】 巻き3折り加工			
	小計		142,940
	消費税(8% 内税)		(10,588)
	合計		142,940

この度は、ご注文いただきありがとうございました。

お手数ではございますが、お支払いは下記銀行口座にてお振込下さいますようお願い申し上げます。

恐れ入りますが、振込手数料は貴社にてご負担お願いいたします。

お振込先:

銀行名: XXXXXXXXXXXXXXXX 口座名義: 一般社団法人 青い鳥

整理
番号

貼付欄 (一部充当・按分の場合は、余白に按分率、政務活動費支出額等を記載)

領収証

チーム泉佐野創生 大和屋貴彦様

No.

金額

¥ 50,000 -

但

ホームページ追加製作費として

2019年2月20日 上記正に領収いたしました

内訳

税抜金額

消費税額等(%)

〒590-0504 大阪府泉南市備後市場159

一般社団法人 青い鳥

代表理事 越智 か

TEL(072)424-8977

コクヨ ウケ-50

領収書

2019/2/25

チーム泉佐野創生 様

金額 ¥ 16000 -

内消費税 0 円

但し のぼり制作

上記正に領収いたしました

westbird work ウェストバードワーク

大阪府泉佐野市 196-1 308号

tel/fax 072-448-6030

mail info@wbw.jp

mobile 090-5466-0120



※ 1ページに複数枚のはり付け可。(ただし、重ならないようにはり付けること)

整理番号 貼付欄 (一部充当・按分の場合は、余白に按分率、政務活動費支出額等を記載)

領 収 証

泉佐野市議会チーム 様 2019年 3月 20日
泉佐野創生

ご利用明細票

お取扱日	店番	お取引内容
31-03-20	40591	通帳送金
記号	番号	
*****	***	
取扱番号	お取引金額	
N144	*290,000	
	残高	
	*470,407	
りそな銀行		
[Redacted]		
送金料金 *432円		
振込予定日 31-03-20		
チームイス*ミサソウセイ		

収入印紙 200円
¥ 290,000 -
議会報告ビデオ制作・印刷費として
上記正に領収いたしました

内 訳
税抜金額
消費税額等(%)

株式会社 ノンバーバル
550-0004 大阪市西区本町二丁目番17号

コクヨ ウケ-104B

ご利用いただきましてありがとうございました。
ゆうちょ銀行

領 収 証

No. _____

チーム泉佐野創生様 H31年 3月 27日

★ ¥ 135,000 -

H31. 3月30日入 折込料として

上記正に領収いたしました

内 訳
税抜金額
消費税額等(%)

読売センター吉見泉佐野
代表 岸和田谷 尚史
〒598-0044 泉佐野市荻松2-1-
☎ (072) 464-770
(072) 465-035
FAX (072) 461-216

※ 1ページに複数枚のはり付け可。(ただし、重ならないようにはり付けること。)

〒598-0021
大阪府泉佐野市日根野
1008

泉佐野市議会チーム泉佐野創生 御中

請求書

2019年03月13日
請求番号: 20190314-015

株式会社ノンバーバル
富士



〒550-0004
大阪府大阪市西区鞠本町
2-2-17
RE006 2F

TEL:06-6445-3100
FAX:06-6445-3101
info@nonverbal.co.jp

件名: 議会報告ビラA3両面デザイン制作費・印刷費
下記のとおりご請求申し上げます。

ご請求金額 **¥ 290,000 -**

お支払い期限: 2019年04月13日

品番・品名	数量	単価	金額
【 A3折なし納品 / A4-P4パンフレット冊子 】	1 式		
議会報告ビラ デザインデータ制作費(A3両面)	1 式	115,000	115,000
議会報告ビラ印刷加工費(A3両面 / コート90kg)	35,000 部	5	175,000
※ 3/18入稿締め切り			
※ 3/25日指定先納品予定			
	小計		290,000
	消費税 (8 % 内税)		(21,481)
	合計		290,000

※ 上記、デザイン・印刷仕様の変更がございましたら都度御見積もりさせていただきます

※ 納期は校了・入稿日より7日程度

お振込先:



請求書 平成31年3月27日 No. _____



読売センター吉見泉佐野

代表 岸和田谷 尚史

〒598-0044 泉佐野市笠松2-1-4

大和屋 貴彦 様

様

☎ (072)464-7700

(072)465-0

FAX (072)461-2

下記のとおり御請求申し上げます

税込合計金額 ¥135,000 税率 % 消費税額等

月日	品名	数量	単価	金額(税抜・税込)	摘要
3/30	1 折込料	30,000	4.5	135,000	
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
合 計				¥135,000	